

拍手の意味を考えてみる

校長 小池 修

4月24日(月)に、級長・副級長の任命式が行われました。クラスや学年の舵取りをするリーダーや、リーダーを支えるフォロワーに向けて、「リーダーシップ」「フォロワーシップ」について話をしました。

学校のリーダーとしての級長や副級長のあるべき姿や、クラスの仲間を引っ張る苦勞とその達成感について。また、級長や副級長を支える仲間の姿や、リーダーを支えるとはどういうことかについて話をしました。その言葉に伝えてくれるように、リーダー達の決意表明が素晴らしく、リーダーとしての不安も多少感じさせつつ、一生懸命さがにじみ出ていました。

任命式の最後に、全校生徒から新リーダーへ拍手が送られました。この拍手には「これからがんばってね。」という応援の意味や、「リーダーとして認めているよ。」という承認の意味と同時に、「私たちもフォロワーとして支えていくよ。」という誓いの意味が込められているのだと思います。頸城中学校生徒の令和5年度の船出に、地域保護者の皆様とともにエールを送りたいと思います。



	級長(学年委員長○)	副級長(1年生は2名)	
3年1組	小林 幸也(さきや)○	桑原 由莉(くわはら ゆり)	
2組	関川 汐音(せきがわ しおん)	西山 大喜(たいき)	
2年1組	渡邊 耀太(ようた)○	小川 凜和(ひより)	
2組	小林 暁季(みつき)	河瀬 知優(ちひろ)	
1年1組	松澤 未羽(みう)	吉樂 璃音(きちらく りお)	松島 輝(ひかる)
2組	五十嵐 蓮(いからし れん)○	池田 奈津美(なつみ)	岩崎 莉子(りこ)

後援会理事会開催

4月18日(火)に、後援会理事会が行われました。頸城区全地域の皆様から預かっております浄財である後援会費を、学校活動に有効利用させていただきます。特に昨年度は生徒の学習環境を整える ICT 機器に多額の援助をいただきました。また、コロナ禍ではありましたが、課外活動遠征費を補助していただきました。感染症対応が緩和されたこともあり、今年度は町内会長様をはじめ地域の皆様から、機会あるごとに生徒の活躍する姿をご覧いただければと思います。

令和5年度 後援会役員の皆様 (敬称略)

* 《 》は小学校区

会 長 井上一英《大瀧》

副 会 長 村田郁男《南川》 井沢輝雄《大瀧》 常山 哲《明治》 小池 修《学校》

常任理事 秋山 勲《南川》 小川 泉《南川》 小高弘一《大瀧》 山田 勉《大瀧》

荏草政秋《大瀧》 新保哲男《明治》 布施徳司《明治》

会計幹事 竹之内猛《南川》 峰村孝美《大瀧》 白田利治《明治》

学校運営協議会開催

5月8日（月）に、第1回学校運営協議会を開催しました。3年ぶりの学区3小学校との合同開催としました。上越市では、平成24年度から、地域とともに学校づくりを進める「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を、全小中学校で展開しています。地域の皆様から学校運営に参画していただくことで、互いに信頼関係を深め、一体となって学校運営を改善し、子供の健全育成に取り組むことが目的です。

委員の皆様から、登下校に関わる交通安全についてご意見をいただきました。自転車通学時の左側通行や歩道のないところでの通行の仕方など、自身の命を守るという観点からも、生徒への指導をより一層行ってまいります。また、感染症の制限緩和措置に

伴い、生徒がより地域の方との交流ができるようになりました。

学校側からは、地域イベントをはじめとした活動に生徒が参画

できるようお願いしました。早速、頸城区の青少年育成会議

より連絡をいただき、話し合いの場をもつこととなりました。

最後に、教職員の「働き方改革」に関連して、先生が元気な姿で生徒と接することができるよう、もっと地域の力を頼ってほしいと力強いお言葉をいただきました。委員の皆様から今後もいろいろなご意見をいただきながら、教育活動の充実に努めてまいります。



令和5年度 学校運営協議会委員（敬称略）

会 長 市川康男

副会長 角張亜由美

委 員	太田冷子	惣塚 弘	井上一英	橋本春美	太田勝美	藤澤明彦
	笠原克也	村松かずみ	上村闔一	望月 博	小池 修	

<学校生活スナップ>



体育祭軍集会
異学年での交流シーン



1年生 自転車教室